

2022年8月4日

株式会社 ベルク

セーフィー 株式会社

ベルク、セーフィーと共同で「Safie One」を活用した実証実験を実施 最新のエッジAIカメラと連動し、データを活用した新たな業務スタイルの創出

株式会社ベルク（本社：埼玉県鶴ヶ島市、代表取締役社長 原島 一誠、以下「ベルク」）は、クラウド録画サービスシェア No.1（*1）のセーフィー株式会社（東京都品川区：代表取締役社長 CEO 佐渡島 隆平、以下「セーフィー」）と共同で、新たに提供を開始するエッジAIカメラ「Safie One（セーフィー ワン）」による店舗業務の実証実験を行いました。



■実証実験の背景と概要

本実証実験は、最先端となる「Safie One」のAIカメラの映像を通じて、小売業における業務の改善と向上を目的としたものです。これまでベルクでは、既存の設置カメラにおいて、売り場での陳列・売れ行きの確認やバックヤードでのオペレーション確認に映像を活用し、売り上げ拡大や業務改善に取り組んできました。一方、店舗スタッフ（店長、部門管理者）は、店舗ごとの業務対応から、映像を見る時間を割けないという課題が存在しました。今回「Safie One」によるクラウド録画サービスの映像とAIが連携し分析を行うことで、従来の業務における課題の改善と新たなスタイルを創出するため、実証実験に至りました。

【概要】

- ・対象店舗：ベルクフォルテ我孫子店（千葉県我孫子市つくし野 4-1-2）
- ・開始：2022年4月
- ・Safie 対応導入機器：「Safie One」（計4台）
- ・内容：店舗における業務向上を目的とした以下の施策

■実証実験の内容 ※ () は実験時の呼称

【1】立ち入りカウント（エリアカウント）による検知

お弁当（惣菜）エリアの俯瞰できる場所に「Safie One」を設置。映像とAIによる立ち入りカウント検知を連携したデータ分析を行い、適切なお弁当の陳列と補充を管理するものです。今回はエリアを4分割したゾーン計測により、お客様の立ち寄りが一番高いエリアを明らかにし、人気商品などを適切に配置する場所を検討し陳列へつなげます。今後は、販売実績のデータと掛け合わせることで、値引き分析、PI値分析による管理にもつなげます。

- ・目的：お弁当エリアの滞留率検知による販売精度の向上
- ・対象エリア：お弁当エリアを4つに分割して計測
- ・取り組み：立ち入りカウントの検知から、滞留数、通過人数、滞留率を数値化。

4つのエリアの滞留率（通過人数÷滞留人数）をカウント。

曜日、時間帯などを軸に、各エリアの要因についても検証。



実際の店舗のエリア検知

| ゾーン名 | 通過人数 | 滞留人数 | 滞留率 |
|------|---------|--------|-----|
| 全体 | XX, XXX | X, XXX | XX% |
| A | X, XXX | XXX | XX% |
| B | X, XXX | XXX | XX% |
| C | X, XXX | XXX | XX% |
| D | X, XXX | XXX | XX% |

ゾーン別平均数値

■立ち入りカウントで得られた知見

- ・各エリアにおけるお客様の回遊（流れ）の把握
- ・消費者の購買行動にあわせた商品配置の変更（※写真①～②）
- ・曜日や商品キャンペーンにより、旬の商品や売り切り商品の配置の決定



商品配置①



商品配置②

■実証実験中の内容

【2】通過人数カウント（ラインカウント）による検知

- ・目的：入店時のライン検知により取得できる滞在者数から、曜日、時間帯の傾向を把握することでレジ開放やシフト最適化につなげる
- ・対象：店舗入口2カ所に「Safie One」のカメラを設置
- ・取り組み：「Safie One」で記録した映像をもとにライン検知を実施

【3】通過人数カウント、立ち入りカウントの検知データと販売データを連携し、店舗の統合的な数値の可視化

- ・目的：店舗の検知データと販売データを連携し、店舗の統合的な数値の可視化
- ・対象：通過人数カウント、立ち入りカウントとPOSデータ
- ・取り組み：「Safie One」の映像検知から、4つの数値（店前交通量、入店者数、滞留者数、購入者数）とPOSデータを組み合わせファネルにより可視化

株式会社ベルク 取締役 システム改革部長 原田 裕幸 コメント

今回の「Safie One」による実証実験は、お弁当エリアをはじめ、今後の販売力向上につながるヒントが見えた一歩と捉えております。なかでも滞留率の変化など、映像とともにAI計測による具体的な数値を、これまで差異が生じていた各店舗へ提示し、店舗共通の視点が生まれることで、販売力の更なる向上につながると考えています。

■「Safie ONE」を活用した小売業の新たな知見

今回の実証実験から、映像とAIによる立ち入りカウントを活用することで、商品販売に関する新たな知見が得られました。また映像とAI連携により、惣菜・お弁当コーナーにおけるフードロスへの貢献も期待できます。今後はラインカウントによる時間帯別の滞在者数の分析を進めることで、最適なレジ開放数やシフト配置による混雑エリアへの改善をはじめ、立ち入りカウントとPOSデータを連携した店舗の統合的な数値の可視化を目指します。

- ・販売強化：映像とAIによるカウント数値を活用した新たな販売強化
- ・販売戦略：検知データ（通過人数カウント、立ち入りカウント）とPOSデータを連携した店舗の統合的な数値の可視化
- ・フードロスへの貢献：映像とAIカウントによる惣菜・お弁当コーナーにおける効率的な配置から、商品の売れ残りの抑止に貢献

ベルクとセーフィーでは、今後「ベルクデジタルラボ」(*2)において実証実験を行うことで、新たな業務スタイルの創出を支援し、現場DXを推進してまいります。

(※1) テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア (47.5%)

(※2) 「ベルクデジタルラボ」

ベルクでは日頃からデジタル領域で先進的な取り組みをされている皆さまと共に、食品スーパーマーケットとしてのDX推進を加速させていければと考えております。今後、そうしたご提案を皆さまと積極的に検討していく場として、定期的に「Belc Digital Lab (ベルク デジタルラボ)」を開催いたします。

詳しくは <https://new.belc.jp/digitallab> をご確認ください

【株式会社ベルク 会社概要】

「Better Life with Community ～地域社会の人々により充実した生活を～」を企業理念として埼玉を中心に食品スーパーマーケット「ベルク」を 127 店舗(2022 年 6 月時点)展開。今後もベルクでは、フードロス削減、生産者支援、または環境への取り組みなど地域のみなさまのよりよい暮らしに貢献する活動に取り組んでまいります。

本社所在地：〒350-2282 埼玉県鶴ヶ島市脚折 1646 番

設立：1959 年 5 月

資本金：39 億 1265 万円

代表者：代表取締役社長 原島 一誠

URL：<https://www.belc.jp/>

事業内容：食品スーパーマーケット・チェーン経営

【セーフイー株式会社 会社概要】

カメラとインターネットをつなぐだけで、いつでもどこでも映像を確認できるクラウド録画サービスシェア No.1 のサービス「Safie (セーフイー)」を提供。「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、人々の意思決定に映像をお役立ていただける未来を創造し、企業から個人まで誰もが手軽に利用できる映像プラットフォームを目指しています。

本社所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-5-1 A-PLACE 五反田駅前

設立：2014 年 10 月

資本金：53.5 億

代表者：代表取締役社長 CEO 佐渡島 隆平

URL：<https://safie.co.jp/>

事業内容：クラウド録画・映像管理プラットフォーム『Safie (セーフイー)』の運営

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ベルク マーケティング部 TEL 049-287-1414 (受付時間 9:00-18:00)